

第100回 横浜市立大学法人評価委員会 会議要録	
日時	令和6年8月22日(木) 10時00分～12時00分
開催場所	横浜市役所市会議事堂 多目的室
出席委員	板東委員長、今市委員、大久保委員、大塚委員、山本委員
欠席委員	なし
法人	近野理事長、石川学長、橘副学長、宮城副学長、小川副学長、遠藤附属病院長、田村市民総合医療センター病院長、松井事務局長 ほか
市・事務局	今市大学調整部長、長久大学調整課長、中村大学調整課担当係長 ほか
開催形態	公開(傍聴者なし)
議題	1 第99回横浜市立大学法人評価委員会会議要録(案)について 2 令和5年度 公立大学法人横浜市立大学の業務の実績に関する評価結果について

開会 議事	<p>(主な発言は、以下のとおり)</p> <p>※ 議題1について<資料1> 資料1の内容で、公表することについて異議なし。</p> <p>※ 議題2について<資料2-1、2-2> 【事務局】 原案の評価は、委員全員が一致している場合はその評価とし、分かれている場合には多数側の評価としている。</p> <p>【委員長】 まず項目別評価から、各委員の評価が一致していない項目を中心に審議し、本委員会としての評価を確定していきたい。</p> <p>● 項目別評価</p> <p>「I 教育」</p> <p>1. 新たな時代を見据えた教育の提供 【委員長】 一名がA、その他の委員はB。法人の自己評価はB。資料2-1、5ページの1のコメントについても、意見があればいただきたい。これは委員からいただいた意見を整理したものであるので、内容的にも確認をいただき、これでよいということであればBとする。「優れた点・特色ある点」、「さらなる充実が期待される点」についてもこういった記述にしたいと思うが、よろしいか。 (異議なし) 原案通り、Bとする。</p> <p>2. 5学部6研究科における教育の充実 【委員長】 一名がB、その他の委員は、特に大学・高専機能強化支援事業の選定を受けたことを評価されたものと思うが、Aとされている。特に意見がないようであれば、記述の内容もポイントを押さえた内容であると思うので、この内容でAとすることはいかがか。 (異議なし) それでは、原案通りAとする。</p> <p>3. 時代に即した学修環境・学生支援の提供 【委員長】 全員がBで一致。記述も含めて、原案どおりでよろしいか。 (異議なし)</p>
--------------	---

4. 多様で優秀な人材の獲得と輩出

【委員長】

全員がBで一致。記述も含めて、原案どおりでよろしいか。
(異議なし)

5 社会人の学び直し

【委員長】

一名がA、その他の委員はB。法人の自己評価はB。Aとした委員から意見はあるか。

【委員】

Bとすることに異議はない。

【委員長】

それでは原案どおり、Bとさせていただく。これからさらに充実を期待することについて、意見が出されており、「さらなる充実が期待される点」としてコメントがまとめられているが、こちらもこの内容でよろしいか。

(異議なし)

それでは、原案どおりBと確定させていただく。

II 研究

1. 先進的・学際的研究等の推進

【委員長】

全員がAで一致。法人の自己評価もAであり、記述についても各委員の意見がまとめられているので、原案どおりでよろしいか。

(異議なし)

2. オープンイノベーションの推進

【委員長】

一名がA、その他の委員はB。法人の自己評価はB。Aとした委員から意見はあるか。

【委員】

Bとすることに意義はない。

【委員長】

それでは原案どおり、Bとさせていただく。コメント部分についての意見・指摘はあるか。

(特になし)

コメント部分も原案どおりとする。

3. 研究基盤の強化及び支援体制の整備

【委員長】

全員がBで一致しているので、コメント部分の記述も含めて、これでよろしいか。

(異議なし)

III 医療

1. 患者本位の医療の提供と患者安全の取組

【委員長】

全員がBで一致。記述についても各委員の意見がまとめられているので、原案どおりでよろしいか。

(異議なし)

2. 質の高い医療の提供

【委員長】

2名がA、3名がB。法人の自己評価及び原案はB。各委員から意見を伺いたい。

【委員】

私はAとしたが、Bとする理由がよくわからない。ここに記載のある内容は、附属病院とセンター病院とでそれぞれ違うので迷った。例えば実績報告書 33 ページの記載内容等は、数字がきちんと捉えられていて、遠隔 I C U の取組等が評価できると思い、評価を上げてよいのではないかと考えた。

【委員】

Bとしたが、治療件数、手術件数等の細かい数字を見て評価したところはある。インフラ整備その他、質の高い医療を提供するためのさまざまな努力や取組は評価しているので、こだわりはない。

【委員】

私もBとしたが、附属病院とセンター病院と両方あるので迷った。附属病院の遠隔 I C U は高く評価できると思うが、全体として見た時にAとするまではと判断してBとしたが、非常に迷ったので、説明もなかなか難しいところではある。

【委員】

私もBとしたが、質の高い医療、つまりクオリティを問うているので、Aでもよいと思う。ただ、クオリティと言いながら、数値目標の中にボリュームの部分も入ってしまっているが、ボリュームは次の3の項目で評価するところ。この項目は、遠隔 I C U をどう評価するかがポイントかと思う。遠隔 I C U は横浜市立大学が先駆的に取り組んでいて、ここはAでいいのではないかとと思う。

一方で、手術件数がやたらに増えてしまって、大丈夫なのかと。今、研究力が問題になる中で、この辺りをどうコントロールしていくのか、新たな課題が出ているということでAとBの中間のように思うが、クオリティの点だけ捉えればAとしてよいかと思う。

【委員長】

私はAとしたが、今の指摘のように、遠隔 I C U がまた一歩進んだということは評価できるのではないかとということと、また、横浜市という土地柄もあるかと思うが、外国人患者のための環境整備の点で、これから日本の医療として取り組んでいく先端の部分を進めているということで、Aとした。評価すべき点がいくつかポイントとしてあると思い、Aとさせていただいた。

【委員】

各委員の評価が全体的に厳しめであるが、病院は相当、努力されているので、私はこの段階で評価をAに変えさせていただく。

【委員長】

Aが4名となったが、Aとすることについていかがか。

(異議なし)

それでは、後の項目も含めて、病院に関する項目はAが多くなっているので、後からまた見直しの意見があれば指摘をいただきたいが、法人の自己評価であるBより上げて、いったんAとさせていただく。

3. 政策的医療への貢献、地域医療の推進

【委員長】

3名がA、2名がB、原案はAである。それぞれ意見をいただきたい。

【委員】

私はBとした。いろいろな運用や地域医療等、様々な取組をやっているとは思いますが、やはり附属病院とセンター病院とで違うとは思いますが、数値がなかなか反映されていないことを残念に思った。数値だけの問題で、これをどう評価するかということであるので、評価に固執はしないが、法人の自己評価はBであったので、Aとしなくてもよいかと思った程度である。

【委員】

Bとしたが、特に医療の項目は4つ全部がそうであるが、評価の基準が「計画を大きく上まわって実施している」、「計画を上まわって実施している」となると、定性的なトピックスよりも、数値的などころに評価が引きずられる。もちろん、能登地震の対応についても評価はできるが、私はどうしてもその数値基準に引きずられて、平均的にバランスを取れば、計画は実施しているというところでBとした。

【委員】

私はAとした。能登半島地震の対応、こういった事故への体制の整備は、もちろん計画として立てられると思うし、それを進めていくということだと思うが、実際にそれを運用したといった部分を高く評価できるのではないかと思い、Aとした。

【委員】

多くの医療機関がコロナから抜けた後の目標の達成に困っている中、見事に数字的にもクリアしているし、手術件数もそうであるが、とても頑張っていると思うので、ここは文句なくAかと思う。

【委員長】

私もAとしたが、数値目標を上回っている、下回っているということについて、どうニュアンスとして評価していくのかということ、また、両病院の状況の違いもある中での評価は難しい思いながらであったが、積極的に新しいことに取り組んでいる点は評価できると思い、Aとさせていただいた。

さらに意見等があればいただきたい。

【委員】

数値目標というのは大変難しい問題で、数値を設定する時に色々考えてやるわけであるが、一応、その数値を設定したのであるので、数値目標を達成できたかどうかというのは重要と思っている。私自身の評価はBから変えないつもりでいるが、多数決ということではAにしてもよろしいかと思う。

【委員】

私はBとしたが、数値的な部分とそれ以外の部分のバランスをどうとるか、委員によって個人差があるのかもしれないが、Aとしても構わない。能登半島地震の対応も素晴らしいと思うが、これは評価の基準で言うと特筆すべき状況で対応したというように捉えていたが、数値基準とのバランスでAとするかBとするか悩む。その捉え方によって若干の違いが出てくるけれども、結果としてAで問題ない。

【委員長】

Aとしてもよいという意見もあったが、その根拠となっている能登半島地震への対応について、確認をさせていただきたい。能登半島地震に対して派遣したDMATは、どのくらいの規模、質、量であったのか。

【法人】

附属病院のDMATは、医師2名、看護師1名、業務調整員として臨床工学技士1名の計4名で構成され、1月12日から17日まで活動した。主に石川県調整本部の物資支援班として、救援物資にかかる連絡調整などを行った。

【法人】

センター病院も同様の時期に、同様の職種によるDMATを構成し、珠洲市等で活動を行ったほか、高度救命救急センター長においては、石川県庁内のDMAT調整本部の本部長として、現地で活動するDMAT25隊を指揮し、支援を行った。

【委員】

今回の能登半島地震は、かなりアクセスも悪く、また、通常の大規模災害に比べるとかなり長期

化したということもあるが、全国からDMATが出ているので、これはDMATを持っている病院であれば通常の支援活動の範囲内かと思う。

【委員長】

そういう意味では、これだけで評価するのは難しいと。

【委員】

これをもって特筆すべきというのは、少し厳しいと思う。

【委員長】

計画にはなかったにしても、この部分はそれだけをとってというのは難しいと。その他、特に評価の点で気になる数字の部分があれば意見をいただきたい。

【委員】

実績報告書 36 ページの救急応需率の指標は、一部は達成、一部は未達成というところがあるが、平均的には数値目標はクリアしている、計画と一致しているということになるものとして、そのような評価でBとした。

【委員】

そもそも、救急応需率を指標として設定するのはあまりよくない。その時の地域の環境等、特にコロナの影響等で依頼件数が大幅に増えてしまうことがあるので、次の計画策定の時には救急応需率ではなく、実際の対応件数、救急搬送受入件数等の実数を指標とする方がよいかと思うので、今後、検討していただければと思う。

【委員】

数字が上回っているところもあれば、そうでないところもあり、法人の自己評価もAのところと、項目によってはB、Cというところもある。私は数値目標はそれぞれで最初に考えて作るもので、一応、重要と考えて、可もなく不可もなくということになるのでBとしたが、固執はしない。委員会としてはAというのでもよいと思う。

【委員】

多くの医療機関でコロナが抜けたあと、患者が戻ってこず、予定通り、目標通りにいかないというところが多い中で、よくこれだけきちんと目標に到達しているなど。周辺の状況を考えると、十分評価し得ると考えた。

【委員長】

不妊治療等についてもかなり数値があがっているということもあり、また、数値目標評価に強く拘らないという意見であったので、多数に従ってAとすることでよろしいか。

(異議なし)

それでは、Aとさせていただく。コメントの部分はいかがか。先ほど指摘があったように、指標の点では少し期待を下回っているというところもあるので、その点は「改善すべき点」というところか。

【委員】

能登半島のDMATについて、あえてコメントを入れるかどうか。通常の支援活動の範囲であるという点では、懸念するところ。ただ、現場で苦勞されている職員はいらっしゃるの、なんらかのコメントはあってもいいかと思う。

【委員長】

災害医療への取組について、能登半島地震のDMATの派遣以外にはあるか。

【法人】

日頃の訓練等の取組はある。

【法人】

センター病院も同様である。

【委員】

コメディカルの派遣というのは、DMATのことを指しているのか。

【法人】

センター病院は、DMATの構成員の中のコメディカルと、それぞれの職域団体からの要請に基づいて派遣したというものと、両方ある。

【法人】

附属病院も、薬剤師会からの依頼に対して薬剤師を派遣したことと、感染学会からの依頼に対して感染制御部の医師を派遣した。

【委員長】

それでは「積極的な取組」という部分を、「災害医療への取組を高く評価する」という程度とし、災害医療に関する取組は、通常以上に頑張っていたということとは評価すると。ここはそのような形でよろしいか。

(異議なし)

4. 明日を担う質の高い医療人材の育成と活用

【委員長】

1名がB、その他の委員はAであるが、意見はあるか。

【委員】

概ね予定通りと思ってBとしたが、委員会としての判断に委ねる。

【委員長】

私はAとしたが、センター病院の特定看護師の数がとても少ないことがやや気になった。昨年の評価がどうであったか、確認をお願いしたい。

【事務局】

昨年度とは項目名が変わっており、また、昨年度は4段階、今年度は5段階での評価という違いはあるが、昨年度の「医療人材の育成等に関する取組」の項目は、委員会の評価、法人の自己評価ともにAであった。これは、4段階評価では真ん中の評価（「順調に計画を達成している」）であったので、今年度に読み替えればBとなる。

【委員】

数字が出ないような、何かの支援を実施する、充実するといった点は、実績の評価が難しいところもあったが、数字・指標で出ている部分については、上回って達成したと思う。ただ、一方で、特定行為に従事する看護師の数は、中期計画の指標に対してセンター病院の数字がかなり低く、私もその点だけが少し気になった。

【委員】

特定行為看護師について、特定行為研修はどのようにして受けるものなのか。

【法人】

附属病院、センター病院とも、募集をして、手を挙げてもらって受講する形。

【法人】

医師の傍について、医師が見ている前で医療行為を実施する。そういうものを、2年か3年やったことで、特定行為ができる看護師であると認定され、そこから先は独立してその特定行為ができるようになることを特定研修といっているのです、その卒業生のような方ということ。

【委員】

本人が手を挙げないと結果的になかなか数字が増えないという中で、私がAとしたのは、いろいろな他の数値項目と比べると、ここの数値項目にはあまりウエイトを置かなくてもよいのではないかと思ったため。さまざまな施策、研修の手を打って、人材育成をやっているということの評価した。

また、去年と今年とで評価基準が4段階から5段階に変わったが、毎年、気になるところ。達成していない数値項目があるが、全体的には平均的には達成しているということであれば、私はこの数値基準はクリアとする見方。それよりも、全体のどの項目の評価をするにしても、中期計画のスタートの大事なところであるので、様々な施策、いろいろと手を打っているかというところにマインド的なウエイトを少し置いている。この4の項目は、数値目標の基準よりも、他の様々なそのことに取り組むための研修であったりということを重視し、Aとした。

【委員】

私は、特定行為研修はもう少しやってもよいのではないかと思ってBとした。今年度から始まった医師の働き方改革が成功するかどうかのひとつのポイントが、この特定行為研修修了看護師の数であるので、大学病院規模の病院こそ大量に輩出していかないといけない。手を挙げた本人にとってのインセンティブが必ずしも十分でない中だと、病院側がプッシュしていかないと、なかなか数が増えない。そうなる、もう少し頑張っていた方が病院にとってもよいのではないかと思いい、期待を込めてBとした。

【法人】

まさにおっしゃる通りで、インセンティブをつけてあげないと、次の人が続いてこない状況。看護師の方たちは、今、モチベーションだけでやってくれている。少し、危機感を抱いているのは、昨年、かなりの数の特定看護師が、特にセンター病院から引き抜かれたこと。我々にとっては大切に育てた人材が、市大よりも給料がよい私立の病院に引き抜かれていくという構図があるので、ここは本当にインセンティブを考えないと、大学病院の中で増えていかない。この評価書の「改善すべき点」等に、インセンティブ等を考慮すべきことのご指摘をいただくと、病院として進めていきやすいのでありがたい。

【委員長】

私も、特定看護師の部分と、また、医師の育児関係の休暇の取得率が低いことも気になった。優秀な人材を確保し、定着させていくための環境整備について、もっと整えていただく余地があると思っている。

この「改善すべき点」の記載については、指摘があったように、もう少し積極的な働きかけといった点も含め、厚みを持った記述となるよう工夫することとし、評価としてはAということによるしいか。

(異議なし)

それでは、Aとさせていただくが、「改善すべき点」の記述については工夫し、むしろそれを活用していきたいという風に思う。

これで、医療の項目は2、3、4がAということになったが、よろしいか。

(異議なし)

医療関係はコロナ以降も難しい状況の中で努力されているということで、この評価とする。

IV 法人経営

1. 経営改革を強力的に推進するガバナンスの強化

【委員長】

全員がBで一致し、法人の自己評価もBであるのでBでよろしいか。コメントについては、監査室の設置について記載しているが、これでよろしいか。

(異議なし)

2. 不断の経営改革及び持続可能な経営のための自己収入確保

【委員長】

4名がCと、やや厳しい評価であるが、Bとされた委員から意見はあるか。

【委員】

概ね計画通りだったと思いBとした。また、他の委員は、経常損益や収支の問題を取り上げていらっしゃるが、赤字の主な原因は病院であったと思うが、全国的に令和5年度は大学病院は大赤字で、なかなか法人としての経営努力でどうにかなるレベルの問題ではなかったのではということがあり、Bとした。

【委員長】

確かに、大学病院は皆、かなりの額の赤字を出している状況はあると思うが、一方で、外部資金獲得等も含めて、もう少し努力の余地があるのではということ、私はCとした。

【委員】

私はBとしたが、委員会の判断に委ねたい。

【委員長】

特に積極的に評価を変えた方がいいという意見がないようであれば、Cとさせていただきたいが、いかがか。

【委員】

私もCとしたが、赤字については、他の大学病院と比べてどうかということ等もあると思うが、ここは割り切ってそのままの基準や評価をしてもよいかと思う。DXとかデジタル化をもう少し頑張してほしいと思うが。

【委員長】

では、改善の部分にDXやデジタル化についての記載を追加するという事によろしいか。

【委員】

DXについては、財務的な面がかなり変わってくると考えるので、さらに進めてほしい。取り組んでいないわけではないので、「改善すべき点」というところでは言い過ぎと感じる。書き加えれば、さらにスピーディーに、さらに充実をお願いしたいという記述がよいかと。

【委員長】

では、「さらなる充実が期待される点」ということで、DX等の推進をさらに進め、業務の効率化を進めてほしいということに記載するという事によろしいか。

(異議なし)

それでは、財務、経営改革の関係のこの部分に、DXの記載を入れるということとさせていただく。

3. コンプライアンス推進、リスクマネジメントの確立

【委員長】

各委員の評価、自己評価ともBであるので、Bによろしいか。

(異議なし)

4. 教職員エンゲージメントの向上

【委員長】

3名がC、2名がB。Bとされた委員から意見をいただきたい。

【委員】

これは計画に対しての評価なのだが、様々な意見が出るのは、計画の立て方や数値設定そのものに対して踏み込んでいるからかと思う。私は、計画に対しては実施しているから、Bとした。けれども、施策がこれでよいのか、もう少し考えた方がよいのではないかということは強く思う。法人が立てた計画に対する評価であるが、計画そのものについてのコメントを委員が書くというような構図になっているように思い、その辺りのスタンスが難しい。本来であれば計画を立てる時に、その計画についての意見を言わなければいけないのかもしれないが、現実的には難しいので、ここ

で折衷案のようなものを出すようになってきている。エンゲージメントのところは、なかなか難しいということは前回も申し上げたが、施策、計画をもう少しきっちりと具体的に考えてほしい。ここは評価に迷う所で、この計画に対してはBであるが、全体的には少し不満があるのでC、そのような立場でBとした。

【委員】

私も同じで、計画に対しては、ほぼ達成しているということでBとした。

【委員】

私はCとした。特にコンプライアンスや教職員のマネジメント、エンゲージメントといった項目では、年度レベルで何か施策を実施するということは必要条件であり、その結果、どういった効果はどういう形で出てきたかということがないといけない。働き方改革やダイバーシティもそうだが、いろいろな施策を打って、その結果がどういった形で現れてきたのかという状況の記載がほしい。かつ、教職員のエンゲージメントの向上であるから、経営側からというより、むしろ教職員側がどう見ているかという視点、実績評価としてはこういった声も出ている、こういった評価をもらっているというようなところを記載してほしいし、そこに経営側は努力すべきと思ってCとした。

【委員】

「配偶者の出産に伴う休暇（3日以上）の取得率」の実績が53.8パーセントであるが、中期計画は100パーセントとしているので、やはり少し実績が低く、計画達成に向けてはやや困難があるのかなど。それ以外の部分はおおむね計画通りと見たので、ここをどの程度、重く見るかというところでCとしたが、全体を見ると、確かにB寄りというところはあるかと思う。

【委員長】

私もCとしたが、確かに何をやったかというアウトプットのところはきちんとやっているのかもしれないが、その結果としてのアウトカムが、特に今、指摘のあった出産関係の休暇取得率のようなところにも表れているように、根本的な環境改善をしていかないと数字が上がってこない、そのような部分が少し取り組めていないのではないか。この辺りも、数字に表れるような取組の業務改革であったり、タスクシェアであったりという様々な取組を、今後、進めていただかなくてはいけないのではないかということで、Cとさせていただいた。やはりちょっと数字が低すぎるというのが正直なところ。

この項目は、法人の自己評価もCであるし、今、数字に表れているところのさらなる取組を期待したいということで、Cとするということでもよろしいか。単純な工夫という程度ではできない話かもしれないので、「改善すべき点」というところに、取得に向けた一層の工夫という部分を、もう少し強めて記載してもいいかもしれない。少なくとも取組を強化してほしいということで、少し強調していただけるといい。評価はCとし、配偶者の休暇の取得率については、改善を強く促していくということでもよろしいか。

（異議なし）

5. YCUの価値向上

【委員長】

1名がA、4名がB。Aとされた委員の意見はいかがか。

【委員】

「YCUの価値向上」について、評価を実施するのははじめてのことと思う。この評価期間はスタートとしてはしっかりやっているということで、Aとした。

【委員長】

今後、創立100周年を迎えること等に対する、さらなる期待を込めてということで、スタートラインはBで考えていただくことはどうか。

【委員】

異論はない。委員会にお任せする。

【委員長】

それではBが多数であるのでBとさせていただきたいが、コメントについての意見はあるか。
(異議・意見なし)

6. 課題解決を目指した地域社会との協働の推進

【委員長】

全員がBで一致しているので、コメントも含めてこの内容でよろしいか。
(異議なし)

7. 医学部・病院再整備事業を見据えた取組の推進

【委員長】

1名がC、その他の委員はB。Cとされた委員から意見をいただきたい。

【委員】

おおむねBでよいかと思いつつも、特に【39】(附属2病院における連携の推進及び経営基盤の強化)等は、まだこれを目標にしているのかというのが正直なところで、すぐに進めるべきところかと。また、医師事務作業補助体制加算は、最上位加算を取るのが当然と思う。特に大学病院は、最上位加算を取ると少し持ち出しとなったり、医師事務作業補助者の確保等が難しいことは承知しているが、ここは歯を食いしばってでも最上位加算を取っていくべきであるし、その他の項目に関しても、目標としてあげること自体いかなものかと。やって当然というようなことが多いので、あえて厳しい表現とさせていただいた。

【委員長】

確かに、今までのスタートラインがやや低いのもかもしれないとは感じた。ただ、計画に照らすと、それに従って実施しているのでBということではいかがか。

(異議なし)

では、さらなる取組の加速をお願いするということで、Bとさせていただく。

コメント部分については「更なる充実が期待される点」、「改善すべき点」を記載しているが、これでよろしいか。

(異議なし)

意見をいただいた医師事務作業補助体制加算については、「改善すべき点」としてコメントを入れるということで、ご了解いただきたい。

8. 環境への配慮や交流を意識したキャンパスづくり

【委員長】

全員がBで一致であるので、Bでよろしいか。コメントについても原案どおりでよろしいか。
(異議なし)

V 自己点検及び評価

【委員長】

全員がBで一致であるので、Bでよろしいか。コメントについても原案どおりでよろしいか。
(異議なし)

VI 地域貢献

【委員長】

横断的項目ということで、評価の仕方が難しいとは思ったが、4名がBで多数意見であるし、Aとした私もそれに従わせていただければと思うので、評価はBとしたい。コメントについてもこれでよろしいか。

(異議なし)

VII グローバル展開

【委員長】

これも横断的項目であるが、全員がBで一致している。コメントもこれでよろしいか。
(異議なし)

● 総評

【委員長】

資料2-1の3ページの総評について、全体については着実に進んでいると評価し、各分野については、もっとも評価される点や、もう少し期待したい点等を記載しているが、特に法人経営の項目についてはいかがか。

【委員】

最後のくだりに細かい施策についての記載があるが、これは各項目の評価に記載することには違和感はないが、総評でここまで記載する必要はないかと思うので、当該部分を削除としていただいてもいい。

【委員長】

それでは、「経常損益が大きな赤字になっているため、スピード感を持って早期の収支改善に取り組む必要がある」というように、一部を削除とさせていただく。その他、他の委員から意見はあるか。

【委員】

最後の部分について、言葉の感覚的などころかもしれないが、「スピード感を持って早期の改善」というのは重複感があることと、カタカナが入ることに少し違和感がある。

【委員長】

それでは、「スピード感をもって」は削除とさせていただく。

【委員】

私はこれで結構かと思う。

【委員】

私も特に意見はない。

【委員長】

私も、今、修正をした内容でよいかと思うので、総評についてはこの形とさせていただく。以上、これで全体を確定させていただくこととなるが、よろしいか。
(異議なし)

それでは、本日の委員会での意見に基づいて事務局で修正していただく。表現等については若干、変わってくる部分もあるかと思うが、その調整は委員長一任とさせていただいてよろしいか。
(異議なし)

それでは、委員の意見に従ってまとめていくこととしたい。

閉会